

補足情報

1. 2018 中期経営計画の分野、ビジネスユニット(BU)・事業別業績

分野、BU・事業	2016 年度実績		2017 年度実績		2018 年度見通し*1	
	売上収益 (億円)	調整後営業 利益率/ EBIT 率	売上収益 (億円)	調整後営業 利益率/ EBIT 率	売上収益 (億円)	調整後営業 利益率/ EBIT 率
フロント*2	35,270	-	36,079	-	-	-
電力・エネルギー分野計*3	4,957	1.8%/ △11.5%	4,509	5.7%/ 8.9%	4,560	6.3%/ 8.0%
原子力 BU*4	1,922	-	1,875	-	1,820	-
電力 BU*3	2,769	-	2,731	-	2,840	-
エネルギーソリューション BU*5	782	-	-	-	-	-
産業・流通・水分野計	7,030	-	7,020	-	-	-
産業・流通事業*6	6,289	△0.2%/ △0.6%	6,200	2.7%/ 0.5%	6,330	7.3%/ 6.5%
産業・流通 BU*4	3,762	-	3,581	-	3,560	-
水事業*7	1,298	-	1,275	-	-	-
水 BU	755	3.3%/ 4.5%	787	6.0%/ 8.0%	760	8.0%/ 9.2%
アーバン分野計	10,838	-	11,660	-	-	-
ビルシステム BU	5,858	9.8%/ 10.0%	6,030	8.3%/ 8.2%	5,800	9.0%/ 8.9%
鉄道 BU	4,979	4.2%/ 2.9%	5,627	4.5%/ 3.8%	6,300	7.0%/ 6.0%
金融・社会・ヘルスケア分野計	12,386	-	12,663	-	-	-
金融 BU*8	4,474	-	4,565	-	4,820	-
社会 BU*9	3,278	-	3,401	-	3,630	-
ヘルスケア事業*10	3,169	9.6%/ 7.4%	3,099	8.2%/ 7.4%	3,320	10.0%/ 8.9%
ヘルスケア BU	1,752	-	1,888	-	2,000	-
プラットフォーム・プロダクト	67,145	-	66,117	-	-	-
サービス&プラットフォーム BU*11	8,255	3.1%/ △2.5%	8,288	6.8%/ 4.0%	8,050	8.1%/ 8.8%
インダストリアルプロダクツ BU*12	3,444	4.6%/ 2.5%	3,693	6.0%/ 5.9%	3,950	8.4%/ 7.0%
オートモティブシステム事業	9,922	5.7%/ 6.6%	10,010	5.0%/ 4.2%	9,900	6.1%/ 5.1%

2. 成長戦略(1) グローバル事業の拡大(海外売上収益比率)

BU・事業	2016 年度実績	2017 年度実績	2018 年度見通し
電力・エネルギー事業*3	9%	9%	11%
産業・流通事業*6	12%	11%	13%
水 BU	9%	12%	6%
ビルシステム BU	54%	56%	55%
鉄道 BU	83%	83%	83%
金融 BU*8	13%	17%	22%
社会 BU*9	0%	0%	1%
ヘルスケア事業*10	62%	63%	65%
インダストリアルプロダクツ BU*12	25%	29%	32%
オートモティブシステム事業*13	60%	61%	59%

3. 成長戦略(2) キャッシュ創出力の強化(CCC: Cash Conversion Cycle (運転資金手持日数))

BU・事業	2016 年度実績	2017 年度実績	2018 年度見通し
電力・エネルギー事業*3	82.0 日	75.0 日	70.0 日
産業・流通事業*6、*14	61.1 日	59.8 日	65.5 日
水 BU	13.8 日	13.2 日	23.0 日
ビルシステム BU	38.6 日	42.6 日	42.6 日
鉄道 BU	139.4 日	80.2 日	53.2 日
金融 BU*8	-	-	-
社会 BU*9	-	-	-
ヘルスケア BU	137.4 日	143.4 日	110.0 日
インダストリアルプロダクツ BU*12	107.5 日	100.9 日	97.4 日
オートモティブシステム事業	40.5 日	43.4 日	40.6 日

注記

- *1 前提為替レート:2018年度 105 円/ドル 130 円/ユーロ。
- *2 フロントには Lumada コア事業に関連するプロダクトの一部を含む。2016 年度の実績は、この影響を遡及修正した数値。
- *3 電力・エネルギー分野計および電力 BU の 2017 年度実績は、エネルギーソリューション BU 廃止・事業移管(2018 年 4 月)の影響を遡及修正した数値。
- *4 原子力 BU および産業・流通 BU の 2016 年度実績は、産業・流通 BU から原子力 BU へのプラント建設事業(日立プラントコンストラクション)移管(2017 年 4 月)の影響を遡及修正した数値。
- *5 エネルギーソリューション BU の 2016 年度実績には、情報・通信システムセグメントに計上されている電力・エネルギー分野向け IT システム事業を含むが、電力・エネルギー分野計の数値には含まない。
- *6 産業・流通事業の業績には、産業・流通 BU のほか、情報・通信システムセグメントに計上されている産業・流通分野向け IT システム関連事業を含む。
- *7 水事業の業績には、水 BU のほか、インダストリアルプロダクツ BU の水分野向けポンプ事業等を含む。
- *8 金融 BU の 2016 年度実績は、2017 年 4 月から日立オムロンターミナルソリューションズを金融 BU に区分した影響を遡及修正した数値。
- *9 社会 BU の 2016 年度実績は、2017 年 4 月から社会インフラ分野向け SI、ソフトウェア・ハードウェア販売および関連サービス事業を公共社会 BU(現 社会 BU)に区分した影響を遡及修正した数値。
- *10 ヘルスケア事業の 2016 年度実績は、2017 年度から日立データシステムズ社(現 日立ヴァンタラ社)の関連事業などを除外した影響を遡及修正した数値。
- *11 サービス&プラットフォーム BU の 2016 年度実績は、2017 年 4 月から情報・通信システムセグメントの IT プラットフォーム&プロダクツ部門と統合した影響を遡及修正した数値。
- *12 インダストリアルプロダクツ BU と日立産機システムの単純合算値。
- *13 顧客拠点向け海外売上収益比率。
- *14 2018 年度は大型中東工事案件を除いた数値。

<将来の見通しに関するリスク情報>

本資料における当社の今後の計画、見通し、戦略等の将来予想に関する記述は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等の結果は見通しと大きく異なることがあります。その要因のうち、主なものは以下の通りです。

- ・ 主要市場（特に日本、アジア、米国および欧州）における経済状況および需要の急激な変動
- ・ 為替相場変動
- ・ 資金調達環境
- ・ 株式相場変動
- ・ 原材料・部品の不足および価格の変動
- ・ 長期契約におけるコストの変動および契約の解除
- ・ 信用供与を行った取引先の財政状態
- ・ 製品需給の変動
- ・ 製品需給、為替相場および原材料価格の変動並びに原材料・部品の不足に対応する当社および子会社の能力
- ・ 新技術を用いた製品の開発、タイムリーな市場投入、低コスト生産を実現する当社および子会社の能力
- ・ 価格競争の激化
- ・ 人材の確保
- ・ 社会イノベーション事業強化に係る戦略
- ・ 企業買収、事業の合併および戦略的提携の実施並びにこれらに関連する費用の発生
- ・ 事業再構築のための施策の実施
- ・ 持分法適用会社への投資に係る損失
- ・ 主要市場・事業拠点（特に日本、アジア、米国および欧州）における社会状況および貿易規制等各種規制
- ・ コスト構造改革施策の実施
- ・ 自社の知的財産の保護および他社の知的財産の利用の確保

- ・当社、子会社または持分法適用会社に対する訴訟その他の法的手続
- ・製品やサービスに関する欠陥・瑕疵等
- ・地震・津波等の自然災害、感染症の流行およびテロ・紛争等による政治的・社会的混乱
- ・情報システムへの依存および機密情報の管理
- ・退職給付に係る負債の算定における見積り

以上